

高等学校 令和7年度

教科 国語 科目 現代文の演習

教 科：国語 科 目：現代文の演習

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ F 組

教科担当者：

使用教科書：（ なし ）

使用教材：（ 明治書院『現代文攻略 新読む！問題集1』『現代文攻略 新読む！問題集2』いっす

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 入試現代文における解法の基礎、語彙を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 評論の基本構造（問題＋解決・結論＋根拠）を整理し、読み進めることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 読解力を高めるとともに、自己を向上させ、問題意識をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 現代文の演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
入試現代文における解法の基礎、語彙を身につけ、言語文化に対する理解を深める。	評論の基本構造（問題＋解決・結論＋根拠）を整理し、批判的に読み進めることができるようにする。また、自身の考えを広げたり深化させ、「書くこと」「話すこと」で表現できるようにする。	読解力を高めるとともに、自己を向上させ、問題意識をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	文化としての科学（村上陽一郎）学びとは何か（今井むつみ） 【知識及び技能】 ・文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・具体と抽象の文章構造を理解し、作者の主張を読み取る。	・ディスコースマーカーを用い、内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えが的確に伝わるよう根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。	【知識及び技能】 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・課題について、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	【学びに向かう力、人間性等】 ・学習課題に沿って論理の展開を分析しようとする。	・現代の社会や政治について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・相手により伝わりやすい表現方法を理解する。	・筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、具体例と主張との関係を押さえている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを書いて伝えようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学期	新復興論（小松理虔）近代の原罪 神の亡霊（小坂井敏晶）手の倫理（伊藤亜紗）新世紀のコミュニズムへ（大澤真幸） 【知識及び技能】 ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解を深め使う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫する。	・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・表記・表現の基本ルールを理解する。 ・接続表現の種類や用法を理解する。 ・比喩などの表現技法を理解する。	【知識及び技能】 ・書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解を深め使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで表記・表現の基本ルールを理解し、正確で分かりやすい文を書く。	・小論文とはどういうものかを理解する。 ・自分の経験の中から意見を導き出せるようになる。 ・小論文の書き方を理解し、実践し、相互評価する。	【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで表記・表現の基本ルールを理解し、正確で分かりやすい文を書こうとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学期	共通テストや私大の過去問演習で実践力をつけること。	共通テスト演習 評論的文章 文学的文章 実用的文章	これまで学んだことを生かして制限時間内で正確に解答することができたか	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
							合計
							70